

伝承的な遊びを取り入れた児童の自主性・自立性を育む生活科の授業作りについて
 ～1年「へんしん むかしあそび名人」の学習を通して～

日立市立日高小学校

1 はじめに

小学校学習指導要領解説生活科編の目標には、「具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う」と記されている。「具体的な活動や体験」とは、見る、聞く、触れる、作る、探すなどの活動である。本校の日高学区には、夏には「おんもさ祭り」「日高っこ体験村」冬には、「鳥追い祭り」など地域の行事が盛んで、児童と地域の方たちが係わる機会が多い学区である。

実態調査の結果から、質問①では、既製品を使って屋内遊びをしている児童が多いことが分かる。また質問②では、昔遊びに触れたことのある児童は少ないことがわかる。実際に昔遊びに触れる機会は貴重であり、体験してみることが大切であると考え。質問③の結果から、祖父母や地域の大人と交流するという経験に乏しいことがわかる。そこで、様々な昔遊びを得意とする地域の大人を招いて、昔遊びの交流会をもつことで、遊びの楽しさを感じ、年の離れた大人と関わることの楽しさを経験し、新たな気づきもできるよう、場の設定をする。今回は、1年生の「へんしん、むかしあそび名人」という単元の中で、地域の方々たちを招き、様々な昔遊びを体験する、その後、興味・関心をもった遊びについて試行錯誤を繰り返しながら仲間と技の習得に励む。最後に、会得した技を友達の前で発表することを通して、新たな気づきや表現することの喜びを実感できる活動とする。

実態調査
①家ではいつもどんな遊びをしていますか。(複数回答可) 外遊び(鬼ごっこなど)2人, 外遊び(ボール遊びなど)8人, 外遊び(遊具を使って)4人, 家の中で遊ぶ(ゲーム)10人, 家の中で遊ぶ(工作)7人, あまり遊ばない1人, その他(レゴブロック・縄跳び・人形遊び・花札)6人
②したことがある遊びに○をつけましょう。(複数回答可) たこあげ8人, 竹馬1人, かんぼっくり1人, こま4人, 羽根つき2人, けん玉5人, めんこ3人, だるまおとし4人, おはじき6人, お手玉6人, あやとり5人, ビー玉3人, 1つもない9人
③②野遊びは誰と遊びましたか。 父母10人, 祖父母4人, 兄弟姉妹12人, 地域の大人0人, 一人6人

2 指導案

(1) 単元名 かぞくで いっしょに おしょうがつ (へんしん、むかしあそび名人)

(2) 目標

- 昔遊びに関心を持ち、進んでかかわろうとしている。
 (生活科の関心・意欲・態度)
- 地域のお年寄り等に昔遊びを教えてもらい、楽しく遊んだことを表現している。
 (活動や体験についての思考・表現)
- 昔遊びの技や楽しさに気付いている。
 (身近な環境や自分についての気付き)

(3) 単元について

①児童観

本学級の児童は、明るく何事にも前向きに取り組む児童が多く、異学年との交流や学校探検・公園探検といった1年生同士の交流活動も楽しんで行うことができる。あさがおの栽培にも意欲的で、進んで水をあげたり、様子を観察したりして成長を楽しみにしている姿が見られた。また、地域にも公園が多く、放課後や休日に公園を利用して遊んでいる児童が多い。しかし、実態調査から昔遊びを通して触れ合うことは少ないことがわかる。

②教材観

本単元は、学習指導要領の内容(5)季節の変化と生活(8)生活や出来事の交流に基づいて設定されている。日本古来の伝統的な「昔遊び」について知り、うまくできないことをどのようにしたらよいか考え、こつや遊び方を地域の方から教えていただくことにより、新たな気付きを生むようにする。また何度も繰り返し挑戦することで、できる喜びを実感していくねらいがある。

③指導観

この単元では、寒さに負けず外遊びを楽しんだり、お正月にする遊びや伝承遊びを取り上げたりすることで、昔遊びのよさを身体全体で感じ取らせたい。伝承遊びを通して人と遊ぶ楽しさを知り、人と積極的にかかわろうとする態度や根気強く取り組もうとする意欲を育てることができる。何度も繰り返し練習することにより、うまくできるようになったという児童の自信に繋がりたい。また、練習した技を披露することで、他人を楽しませる喜びを味わわせたいと考える。そのため、地域のお年寄りをゲストティーチャーに招いて、伝承遊びを教えてもらったり、一緒に遊んだり、交流活動をもったあと、習得した技を友達や親の前で披露するという交流活動を取り入れる。そうすることで、人々に関わることの楽しさを感じることができるようになりたい。

(4) 指導計画 (5時間扱い)

流れ	予想される活動	支援と留意事項
あたらしいとしをむかえるよ(2時間)	<ul style="list-style-type: none">・ 新しい年を迎える時期に家族の一員としてしたいこと、できることを発表し合う。・ 冬休みにしたことをふり返り、発表し合う。	<ul style="list-style-type: none">・ 各家庭で調べた習わしや飾りものの名称などを出し合うことで文化の継承に繋げる。・ 大掃除など年末年始の行事を通して家族と触れ合う機会を設ける。
へんしん、むかしあそび(3時間) 本時	<ul style="list-style-type: none">・ お正月にした遊びを思い出し、してみたい昔遊びで遊ぶ。・ 地域の人やお年寄りに昔の遊びを教えてもらい、一緒に遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none">・ 教えてもらいながら昔遊びに挑戦することで、上手にできるようになった自分に気付くようにする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ できるようになったことを発表し合い、お礼のお手紙を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のお年寄りや同級生と関わり合いながら活動することでいろいろな人と関わる機会を設ける。
--	--	--

(5) 本時の学習

① 目標

正月の遊びや昔遊びを、家族や地域のお年寄りなどに教えてもらいながら、みんなで楽しく遊ぶことができる。 (活動や体験についての思考・表現)

② 準備・資料

昔遊びの道具(けん玉・こま・メンコ・羽子板と羽・たがと竹棒・缶ぽっくり・竹とんぼ・おはじき・ビー玉・お手玉・あやとり)、低いテーブル4台、ワークシート、探検バック

③ 展開

◎ 個に対する指導の手立て

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時のめあてを知って、練習したい遊びを決める。</p> <div data-bbox="215 891 689 974" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>むかしあそび名人に むかしのあそびをおしえてもらおう</p> </div> <p>2 「はじめの会」を開く。</p> <p>①はじめの言葉 ②校長先生から ③名人さんの自己紹介 ④学年委員さんの自己紹介 ⑤お迎いの言葉 ⑥遊びの注意</p> <p>3 地域の方たちと一緒に昔の遊びをする。</p>   <p>4 「おわりの会」を開く。</p> <p>①感想発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上手になりたい遊びや、やってみたい遊びを地域の方に教えてもらいながら一緒に遊ぶことを伝え、自分のめあてを確認し、活動意欲を高める。 ・ 挨拶を交わし、和やかな雰囲気ではじめの会を進められるようにする。 ・ 前時までの活動内容から、個々にチャレンジしたい遊びを把握し小グループに分けておく。 ・ 教えてもらう時の挨拶や態度を確認し、地域の方と上手に関われるようにする。 ・ どの児童も色々な昔の遊びを体験できるように、場の設定や時間の設定を行う。 <p>(評) 地域の人たちに教えてもらいながら、遊びを楽しもうとしている。</p> <p>◎ 自分から地域の人と関わることができない児童には、担任と一緒に遊びを教え、教えてもらいながら関われるよう手助けをする。</p> <p>(評) 昔の遊びのこつを教わりながら、面白さに気付いている。</p> <p>◎ 昔の遊びのこつのつぶやきを拾い、広めるようにする。</p>

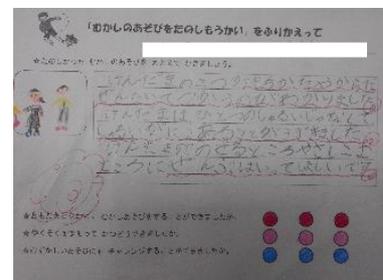
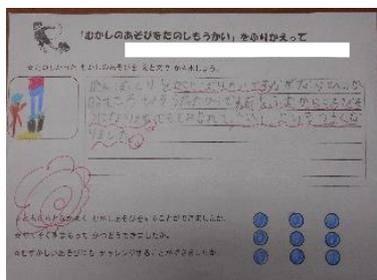
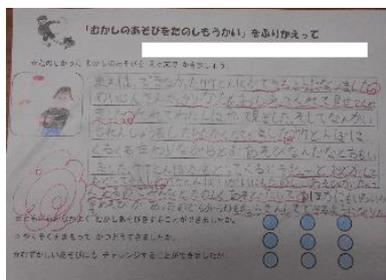
<p>②お礼の言葉 ③名人の先生から ④おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のめあてに立ち戻り、楽しかった遊びを学級全体に広げる。 ・ 遊び教えてもらった地域の人に感謝の気持ちや友達の活動のよさを発表できるようにする。 ・ 地域の方からも遊びを楽しんでいた児童への称賛の言葉をいただくようにする。
--	--

3 資料（実践事例、写真）

◆ 昔の遊びをしている児童の様子



◆ 昔の遊びを楽しもう会後の振り返りシート



4 成果と課題

振り返りカードから、地域の方々の優しさ、すばらしさを感じ取り、感謝の気持ちをもつことができたことがわかる。どの児童も地域の方々に教えてもらうことで、興味をもち練習を頑張って上手になり、友達に認められ自信につながった。また、振り返りカードを使い、文章で書いたりするなどいろいろな形式で活動を振り返ることで、児童自身の気づきにつながった。さらに、地域の方に教えてもらった技を習得しようと、休み時間にも自主的に練習する姿が見られた。しかし、地域の方々と事前に詳しい打ち合わせをする時間をとることは、なかなかできなかったため、当日に慌てて準備したものもあった。打ち合わせが少なくてもいいような活動計画の作成が必要である。また、道徳の学習でも、地域の方にゲストティーチャーとして来ていただければ、交流にもなるし、道徳の実践化にもつながると感じた。